

**平成28年度
第3回藤島地域振興懇談会
会議録(概要)**

期 日：平成29年2月21日(火)

場 所：鶴岡市藤島庁舎

2階202・203会議室

第3回藤島地域振興懇談会会議録（概要）

- 日 時 平成29年2月21日(火) 午前10時～11時50分
- 会 場 鶴岡市藤島庁舎2階202・203号会議室
- 出席委員（五十音順） 7名
上田実、上野隆一、小野寺菊子、佐藤二美、高山千代子、富樫正明、半澤正昭
- 欠席委員 7名 五十嵐笑智子、大井茂、奥山康光、押井一之、佐藤耕喜、田中壽一、富樫達喜
- オブザーバー 県立庄内農業高等学校農場長 笹原俊明
- 市側出席職員
〈藤島庁舎〉 支所長 佐藤正規、市民福祉課長 叶野明美、産業課長 小林正雄、
東部建設事務室長 太田実、農業委員会事務局長 小田仁
総務企画課長 本間光夫、総務企画課課長補佐 井上克浩、
総務企画課専門員 叶野進
〈本所〉 地域振興課地域振興専門員 本間育子
- 傍聴者 なし
- 次 第
 - 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 協 議
 - (1) 平成29年度藤島庁舎主要事業について
 - (2) 平成29年度藤島地域活性化事業について
 - (3) その他
 - 4 閉 会

【会議の概要】

1. 開 会（総務企画課長）
交代委員への委嘱状交付
2. 会長あいさつ（上野会長）
3. 協 議
 - (1) 平成29年度藤島庁舎主要事業について
 - (2) 平成29年度藤島地域活性化事業について
 - (3) その他
4. 開 会（総務企画課長）

2. 上野隆一会長挨拶

第3回目の藤島地域振興懇談会になります。本日の議題にも地域活性化事業とありますが、どこに行っても活性化という言葉は良く耳にするようになりました。私は活性化というのは資源の最大活用化ということで、人・モノ・経済という色々な資源を今までよりも大きく活用することが活性化ではないかと思っております。今日も活性化事業の話もありますので、十分な審議を行っていただきたいと思っております。

3. 協 議

(1) 平成29年度藤島庁舎主要事業について

- － 資料1により説明 － ①総務企画課長 ②市民福祉課長 ③産業課長
④東部建設事務室長 ⑤農業委員会事務局長

○富樫正明委員 資料1の5 鶴岡市藤島地域総合防災訓練の件ですが、説明のとおり渡前地区で開催の予定です。詳細はまだはっきり決まっていますが、午前中で終わる予定で、渡前地区の皆様と渡前小学校の皆様に参加いただき、避難訓練、初期消火訓練、火災防災訓練を行う予定です。渡前地区内で交通規制がかかりますし、消防のサイレンも鳴りますので、ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

また近年は毎年、京田川で大雨による洪水が起きておりますので、整備の方よろしくお願いいたします。

○上田実委員 委託している方が親戚に送りたくて、受託者に飯米をつや姫でお願いしたら、つや姫は飯米としては渡せないと言われたそうです。つや姫を県外の親類などに少しずつ配れば、ますます販路が広がるかと思われるのですが、これは絶対数が少ないから、生産者はあまり食べないで販路に回すということなのですか。分かる範囲で教えていただきたいです。

○小田農業委員会事務局長 委託は基本的にはそれぞれ所有者と受託者の取り交わしになります。中間管理機構を通せば中間管理機構の決まりがありますが、今、鶴岡の場合 10aあたり 15,000円で、中山間部の場合 5,000円位のところもあります。中には作ってもらえれば要らないという方もいるようです。また、稀ではありますが、米何俵と契約している人もおりますので、耕作者との話し合いの中で米を譲っていただくことも出来るかと思っております。

○上田実委員 絶対だめだと言われたそうです。

○小田農業委員会事務局長 耕作者が必ず全部販売に回さなければならないという決まりはないので、どのような契約をされているかによるかと思っております。中には、契約は契約で、米の購入についてはその方から買っている方はおります。

○小林産業課長 つや姫については県で生産者を認定しています。認定生産者になるためには特別栽培米以上の取り組みをしなければならないという条件があります。また、飯米を取ることは出来るのですが、出荷計画を出して認定されているので、そのようなことになるのだと思います。

○上田実委員 今後、つや姫の評判が良くて作付面積が増えた場合、認定農家の規制が緩和されるということはあるのですか。あくまで、今の規制のままですと続くのでしょうか。今後も、栽培した中から飯米を取った分は出荷しなければならないということですか。

○小林産業課長 つや姫は県でブランド化推進本部を立ち上げ、販売価格は上位価格帯を維持することをめざしております。幸い現在、つや姫の売れ行きは良く価格も上位に安定していることからブランド化推進計画に基づいて進められており、当然面積は少しずつ増えている状況にあります。流通量が大幅に増えた時に余剰米が出て、価格が下がることにならないように、ブランド化推進本部ではその辺りを見極めて、作付面積を決めそれに合わせて生産者を認定しているというような状況です。

○半澤正昭委員 箱わなの件については、藤島地区衛生連合会で貸し出しているということですが、鶴岡や羽黒等他の地域の方から依頼があった場合は応じていただけるのですか。貸出の条件として県の許可申請を受けているということがありますが、捕獲するだけでなく、捕獲した後の処分まで指導があったと聞いています。

○叶野市民福祉課長 ハクビシンが空き家に入り近隣に迷惑をかけることが多いので、仕掛ける場所が藤島であれば鶴岡の方でも貸出は可能です。今まではその事例はありません。また、許可申請を取る際に、水没させる等の指導がありますので、生きたまま役所に持ってきていただいても受け付けられないとお伝えしています。

○半澤正昭委員 自分で捕まえたハクビシンは自分たちで殺して、その後に処分場に持っていくということですか。今年の春と秋に、農作物に被害を受けたり家の中に入られて困っているので捕獲したいという相談を受けました。箱わなの紹介をしても、捕獲した後の措置とか県の許可がないと出来ないということで躊躇するようで、結局認定されている業者を紹介しました。もう少し緩和されて自分たちで出来ればと思います。

○叶野市民福祉課長 2月16日藤島地区地域活動センターでハクビシン被害の研修会があり、業者さんに調査から捕獲まで頼んだ町内会では約6万円もかかったという報告がありました。

○高山千代子委員 13件貸し出して捕獲数は何頭ですか

○叶野市民福祉課長 1回の貸出期間が2週間のため、捕獲できずに延長したものも含めて13件でした。ハクビシンも動き回っているのでエサも甘くておいしいバナナをやっても、丁度良く捕獲することは難しく、捕獲数ははっきり把握しておりませんが3～4頭だと思われます。藤島地区の18町内会の内11町内会が被害にあったそうですが、対策しているのは2町内会だけということで、この事業は続けてもらいたいという要望も来ています。

○上野隆一会長 市立保育園の民営化、指定管理者制度というのは、行政上どれだけのメリットがあるのですか。指定管理者に移し行政機構から外して、形式上、民間になっても補助金を交付しているのであれば、実質的な行政改革には効果が少ないのではないかと思います。具体的に教えていただきたい。

○叶野市民福祉課長 直営の場合全額市の負担ですが、民営化により、国からの補助金対象になります。国が補助金の半分を負担し、残り半分を県と市で負担することから、財政上のメリットがあります。

また雇用の面でも、それまで臨時職員として働いてきた方が民間での正規雇用に変わるというようなメリットも生まれます。さらに市の条例等で出来なかったことが民営化により開園時間や延長時間の対応が緩和されるなど対応が柔軟になり、保護者の要望が通りやすくなった等の声が寄せられています。

○上野隆一会長 東洋大学社会学部の話しですが、連携の内容を具体的に伺いたい。

○小林産業課長 東洋大学社会学部社会調査では、鶴岡藤島の農業・エコタウンプロジェクトをテーマに平成19年から10年間、授業として社会調査に来ております。毎年9月に3日間調査においでになり、その調査に基づいて2月に藤島で報告会を行います。これが、授業であります。

その他に、ふじの花まつり、ふじしま夏祭り、ふじしま秋祭りに協力という形でスタッフ的な動きをしていただき、さらに東京事務所等の首都圏でのイベントにも顔を出していただいております。夏祭り等では地域住民と交流する機会もあり、そこで見聞きしたことを、友達や知人に発信していただいておりますが、来年度からは、それをもっと強力にしていまして、他のところにも広めていきたいというところでもあります。

○上野隆一会長 先生はずっと決まっているのですか。

○小林産業課長 19年から阿部英助先生が継続して担当され、毎年30人位の学生がお出でになっています。

○上野隆一会長 藤島の課題解決を一緒にやってもらったら面白いと思います。藤島の持つ課題を集約して、例えば以前に話のあった長沼の温泉町内会の中の空き家問題など、個別調査には労力が必要ですので、そのようなところを東洋大学の学生さんから担ってもらえないかなと思います。

○小林産業課長 調査のテーマが主に環境に優しい農業ということになっていることから、お米の調査、すいおうの調査を中心に行い、2～3年前からは福祉関係、庄内農業高等学校と地域との関わり等も加わり、現在は7つのグループに分かれ、それぞれのテーマで調査しています。調査として関係者の話を聞き、その後検討を重ね、2月の報告会で自分達なりの調査と検討結果を発表しています。その際、報告書も出していただいています。

○上野隆一会長 東洋大学に農学部はないですか。農業調査をすとしても、農業の実態というよりは社会学見地からの調査（経済学的な視点）になると思います。東洋大学から希望もあると思いますが、こちらから逆に提案して協力をお願いすることがあっても良いのではないかと思います。

○小林産業課長 ご意見として伺いながら、先生と相談しながら進めていきたいと思えます。

○半澤正昭委員 祭り振興についてですが、今の祭りが盛んになってそれなりに外からのお客さんもおいでになっているようですが、まとめた記録というか、広報で撮った写真等を整理して学校の教材にする等出来ないものでしょうか。

小学3年生で鶴岡の祭りについて、市で作っている副読本で学習しますが、藤島の祭りについては適当なものが見当たらないということがありました。

随分以前に、伝統芸能を記録に残そうということで、教育委員会で獅子踊りを記録したものが残っていると思いますが、そのままにしているのはもったいなく、そのようなものも活用して、今は残されていないが、各地域でこんなことをやっていた、こんな違いがあったということが分かるような、一つ一つの祭りを単に記録していくのではなく少しまとめて、授業でも使えるものに再編する等の発想があっても良いのかと思います。

イベントはその日だけ、一過性で終わってしまいますので、そこに参加しなくても授業の中で藤島に多くの祭りがあることを学び、映像に自分や兄弟が映っていると、愛着がわき郷土愛が醸成されるという考えで、記録化するというのも良いかと思いました。

(2) 平成 29 年度藤島地域活性化事業について

- ー 資料 2 により説明 ー①産業課長 ②総務企画課 叶野専門員
③産業課長 ④東部建設事務室長 ⑤農業委員会事務局長

○佐藤二美委員 東洋大学の調査の件ですが、昨年度関わる機会があつて、発表会を聞きました。あの提案については何かの形で活かすことはあるのでしょうか。昨年 of 発表では歴史公園のPRの方法としてお守りを作ったらどうかという意見が印象的でしたので、若い人の柔軟な発想を活かせるものなのかお伺いします。

○小林産業課長 報告会については、調査協力者や行政を中心に参加を呼びかけて聞いていただいております。昨年までは、その意見をまとめた報告書を関係課にお渡ししています。意見の反映については担当の判断というところでございます。

今年度も同じように報告書にまとめ、2月24日に報告会を開催しますので、都合が良ければ来ていただきたいと思っております。いずれにしても関係課にはこういった意見があったと伝えていくものです。

○佐藤二美委員 出来れば、これだけ長く藤島のことを歩いて調べていただいているので、我々も真摯に考え、出来ることを見つけて、もう一歩、進んだ行動を取らないといけないなと思ひました。イベントへも協力いただいておりますので、こちらも動きも出してやったほうが良い結果につながるのではないかと感じました。

○上野隆一会長 今みたいな積極的な民間も抱き込んで出来ればと思ひます。役所だけだと動きにくいところもあると思ひるので、参考にしてもらいたい。

○小野寺菊子委員 庄農うどんと加茂水産高校の出汁のコラボの件ですが、頑張っているのは聞いているのですが、今現在、うどんは食べられるのでしょうか。

○庄内農業高等学校笹原農場長 うどんの製造については定期的にやっています。もちろん授業の一環ですので、頻繁に作るというわけにはいかないのですが、各イベント・庄農祭での販売は行っております。

○小野寺菊子委員 会場に行かないと食べられないということで、店等で提供してはいるということですね。

○庄内農業高等学校笹原農場長 地域からの要望もあるのですが、定期的な販売というのは、今のところは難しいところなんです。一番多いのは庄農祭でかなりの枚数を製造販売しています。その他、市や県のイベントでも提供しており、来年度は山形県が主会場のイン

ターハイがありますので、山形市で開かれるプレイベントでも販売する予定です。

○上野隆一会長 庄農の評議委員を数年やっております。残念ながら入学生はずっと下降していますが、庄農うどんの知名度だけが上がっています。

それを学校の中だけ、授業なので特別でないと食べられないという状況から、なんとか常時、庄農うどんが食べられるように出来ないかと思いますが、それがなかなか出来ない。県立高校の決まり等、色々な問題があるようなので、連携協議会で事業化できないのかと思います。これはせつかくの大きな資源ですから、最大限に活用する方法を作りたいと私は思います。

○庄内農業高等学校笹原農場長 地域の大きな期待はわかっておりますので、何とか検討してきたいと思います。また、最近はどうんを使ったチップス（お菓子）等の商品開発にも取り組んでいるところです。

○上野隆一会長 なんで、あんなに美味しいうどんが出来るのか

○笹原俊明庄農農場長 原料だと思います。実習は生徒の手打ちですが、販売しているのは、全て機械です。

○上田実委員 庄農連携事業の中の農福連携事業の関係で、学校祭に招待いただきました。庄農うどん本当にすごいです。とてもおいしかったのですが、学校の中でしか売って悪いということがあるのですか。

○笹原俊明庄農農場長 そんなことはないのですが。

○上野隆一会長 県の教育機関なので、売り上げは県の収入にしなければならない等の課題があるようですが、高校でも民間移管していく部分がないと上手くいかないこともあると思います。そこで、庄内農業高等学校連携協議会が庄農を舞台に協力しながら良い方向を作ることが出来ればと思います。これが進まないで最大活用が出来ないと感じています。時間をかけながらやりましょう。

○佐藤二美委員 歴史公園の件ですが、民間で何か催しをしたいという場合、出来るのですか。その場合の窓口はどこになるのでしょうか。

また、冬のイルミネーションが点灯した時はきれいだと感激しました。出来ればもう1段上にグリーンがあれば藤ぼつくなるかと思って見ていました。これからサポーターなど取り組み、イルミネーションもボリュームアップしていくということですので楽しみです。

○太田東部建設事務室長 届出の窓口は、公園管理者ということで東部建設事務室になります。先程から、上野会長のご発言の中で民営化の話がさまざま出ており、歴史公園は今のところ直営ですが、柔軟な対応に変わる、使い勝手が良くなる等の可能性があるということで、指定管理を目指しております。そのように変わった場合は、そちらに届け出ということになります。

○佐藤二美委員 将来的に、あそこを活気のあるところにしようということでしたら、藤島の魅力が丸ごとわかるような感じの場所であってほしいと思います。そのためにも他所から来た方向けの食べ物屋さん等の情報がある藤島のマップがあればと思います。例えばそれを中学校の美術部とかに頼んで、取材から作ってもらうのも良いかなと思います。

○太田東部建設事務室長 昨年の今頃、歴史公園が完成したということで歴史的なものや地域資源を掲載したマップは作っています。飲食店などのお店情報の掲載も検討したのですが、国の補助金で作成する関係上難しく断念しました。マップは後ほどお届けいたします。

○半澤正昭委員 すいおうについて地域活性化事業で活性化していきたいということで、6 ページにすいおうは健康増進に効果があると書いてありますが、推進体制に健康部門の組織が入っていませんので入れた方が良いのではないかと思います。食生活改善推進員、JA女性部など食の部分で女性が頑張ってくれているので、健康福祉分野で、こういった医学的な効果があるということ、専門行政分野が入り裏付け、健康増進に効果があるとPRしてもらった方が力強いのかと思われしますので、ご検討いただければと思います。

○高山千代子委員 すいおうの話ですが、すごく健康に良いということで私も育てました。しかし、苗がすごく元気がなくて、求めた半分しか育たないというようなことをお聞きしました。あれを改善出来ればもっと広まると思います。ぜひよろしく願います
それから、資料 2 にないのですが、駅前までの道路の拡張はいつ頃までかかるのでしょうか。道路拡張が進むにつれ周辺の人減っているような気がして、藤島駅も新しくきれいになっているので、最終着地点はいつ頃なのか分かればお教え願います。

○太田東部建設事務室長 終わりの年ははっきりとは分かりません。今のところ、平成 30 年までで事業認可を取っていますが、現状を見ますと 30 年までの完成は難しく、来年度には事業認可を変更し、事業期間を伸ばす手続を行うと思います。今、用地買収を進めていますが、来年度には終了する見込みで、その後は道路拡幅・改良工事と、新町橋の歩道橋も新しくするのでその工事を 30 年以降に行うものです。国の交付金事業で進めますので、毎年の予算額が決まっているわけなので県でも完了時期は明言出来ないということでした。

○**上野隆一**会長 役所の事業は行き当たりばったりが多いと感じます。予算次第というところがすごく多く、もう少し中長期的な計画でやっていただきたいと感じます。

○**上田実**委員 藤島歴史公園『Hisu^{ヒス}花』とても良い愛称が決まって良かったです。塚本先生がおいでになった時に、「ふじはとてもわがまま娘なので、これから大変です。自分も年中忙しくまた来るのは難しいので皆さんで頑張ってください」とおっしゃっていました。今後、公園サポーターを募集する事業もあるようですが、先生からおいでいただけない中の推進策の一つとして、ふじの花に興味がある人を、数多く、あしかがフラワーパークに行き勉強させる機会を持ってほしいと思います。そうしないと一時的に『Hisu^{ヒス}花』で盛り上がり上がっても3年4年経っても咲かないと、いざ咲いた時に挽回できないかもしれません。それまで整備する人のモチベーションを高めていくべきだと思います。塚本先生においでいただけないのであれば、逆にこちらから花が咲く1ヶ月前、2ヶ月前、3ヶ月前、満開の時、その後とその年によって違って良いと思いますが、様々な時期に訪問してサポーターの方に勉強してもらう機会を増やした方が良いと思います。ただ、あしかがフラワーパークに日帰りは難しいので、半額くらいは助成出来る方策も考えた方が良くと思います。

○**総務企画本間**課長 塚本先生はお忙しい方なので、直接こちらに来ていただき指導してもらっているのではなく、こちらの藤の育成状況などを写真や動画に撮ってそれをネットで送って、それにコメントをもらうという手法で指導を受けています。

たしかに、ふじの育成をしている団体について、運営補助はあるのですが、視察の補助というのはなく、団体の自己負担となっている訳ですが、ご意見としてお伺いいたします。

○**富樫正明**委員 獅子踊りの件ですが、現在、藤島地域内に6つの獅子踊りと6つの神楽があるということですが、これ以上増やすということはないのでしょうか。今は踊っていないで眠っている獅子が沢山あるようです。それらを再開するときのバックアップ体制はあるのでしょうか。

○**総務企画本間**課長 確かに、今、休眠状態の獅子踊り保存会もあります。その中でも伝統芸能保存協会に登録している団体もありますが、例えば、無音にもあったのですが、もう一度復活という取り組みへの支援については、現在は無い状況です。

○**富樫正明**委員 獅子頭には山鳥の羽根等を使っているのですが老朽化して全部取れてしまって、それも復活出来ない理由になっていると思います。作り直すとなると結構な値段がするのですが、それに対するバックアップ体制はあるのでしょうか。

○**総務企画本間**課長 市独自のものは無いのですが、例えば、以前、長沼の神楽や衣装をコミュニティの補助制度で揃えたことはあります。しかし活動している団体であれば可

能かもしれませんが、休眠状態で頭と衣装だけ揃えたいということでは難しいと思われ
ます。伝統芸能保存協会としては出演する場合の補助はありますが、育成するというか組織
をまた立ち上げるというものに対する制度は今はない状態です。

(2) その他

○佐藤藤島支所長 この地域振興懇談会の委員の皆様は、本年 3 月 31 日までとなっております。まだ任期満了までは今しばらくありますし、来年度も引き続
きお願いする委員も多いかと思いますが、このメンバーでは一区切りとなりますので、一
言御礼のご挨拶を申し上げます。

平成 27 年 7 月以来、6 回にわたり懇談会を開催する中で、委員の皆様には、各団体等の
代表者、あるいは公募委員といたしまして、幅広く藤島地域の地域課題と活性化につつま
して、ご意見、ご指導、また各種の示唆に富んだ的確なご指摘等をいただき誠にありが
うございました。

お陰様でこの会でご提言をいただきました歴史公園の愛称につきましても「Hisu^{ヒス}花」
と決定しておりますし、今回のように庄農との連携事業の際には庄内農業高等学校の笹原先
生からオブザーバーとして参加いただくなど、今までにない取り組みをしていただいたも
のと感じております。

皆様ご承知のとおり、この会につきましても、旧市町村合併特例法に基づき設置されて
おりました地域審議会を踏襲する形ではございませんでしたが、地域の課題や活性化、地
域振興に関しまして色々のご意見をいただく場として、私どもも貴重な機会と捉えており
ましたし、今後も地域の声を発信する場として積極的に取り組んでまいりたいと考えてお
ります。

今、少子高齢化や人口減少、核家族化の進行など社会状況の変化に伴い、地域にはかつ
て経験したことがない様々な地域課題、生活課題が出てきております。

今後も安全で安心して誇りをもって住み続けられる地域づくりを進めていくために、地
域庁舎としても、いろいろな機会を捉えて、地域の状況や課題を色々な皆様からお伺いし、
解決に向けてどのように対応していけばいいのか、地域の皆様と一緒に考え、取り組んで
参りたいと思っておりますので、今まで以上のご支援を賜りますようよろしくお願いいた
します。

結びに、改めまして、委員の皆様各位のこれまでのご指導、ご助言に感謝申し上げます
とともに、とりわけ地域懇談会という、焦点の絞りにくい会にも係らず 2 年間会長を務め
ていただきました上野会長さんに敬意と感謝を申し上げ、甚だ簡単ではありますが、一言
御礼のご挨拶とさせていただきます。2 年間誠にありがとうございました。

4. 開 会 (本間総務企画課長)